社会福祉法人 藤雪会

厚木南地域包括だより(夏号)

2021．5発行
厚木市旭町2-3-13
ケアセンターあさひ1階
Tel 046-258-6705
Fax 046-258-6709
月～土(祝日含む)
8:30～17:30

「 地域のよろず相談所となります。」

「相談は地域包括支援センターへ」

新型コロナウイルスの対策が続く中で迎える今年の夏。マスクで口が覆われることにより、のどの渇きを感じなくなることがあります。十分な水分補給に気を付けてお過ごしください。

厚木南地域包括支援センターは地域のよろず相談所として、地域の方、関係機関と連携を取りながら相談、連絡、調整を行います。感染対策を行い、自宅への訪問、電話、来所、入院先への訪問など柔軟に対応させていただきます。

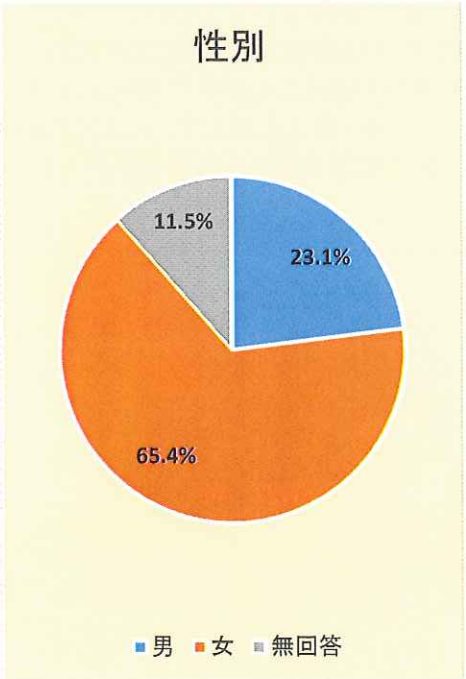
後列：藤原 小林 沢尻
前列：石井 川上

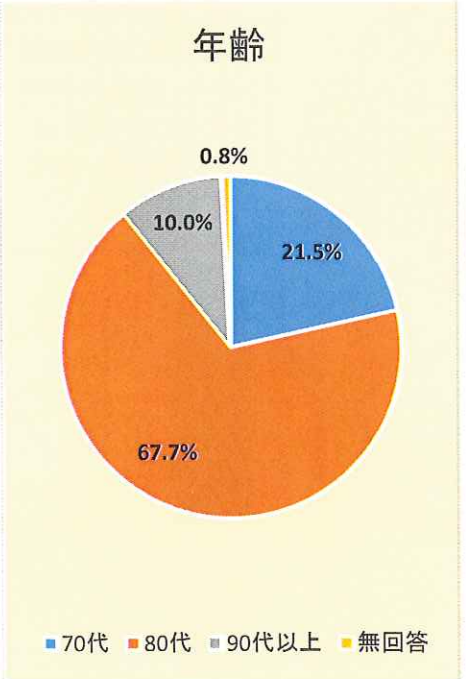
アンケート中間報告 ご協力ありがとうございました

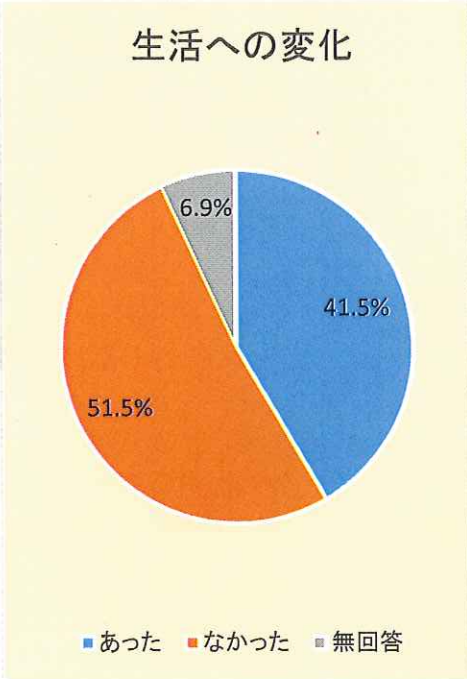
厚木市厚木南たすけ合い・支え合い地域づくり協議会(厚木南地区第2層協議体)では、地域の皆さんが住み慣れた地域で生きがいを持って暮らし続けることができるよう、地域全体での支え合いの実現に向けて取り組んでいます。

現在、新型コロナウイルスにより暮らしに大きな影響が出ています。感染流行がもたらす暮らしへの影響を明らかにし、困りごと・要望などの把握のため、このたび、厚木南地区にお住いの77歳以上のひとり暮らしの方を対象に、『アンケート』を実施しました。

民生委員の皆様のご協力をいただき、130人の方に回答をいただくことができました。今後アンケート結果をふまえ、次のステップを考えていきます。







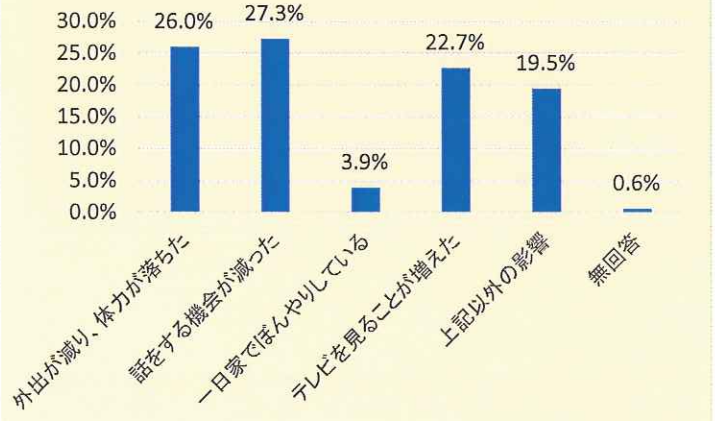
厚木市厚木南地域包括支援センター

Tel　046-258-6705

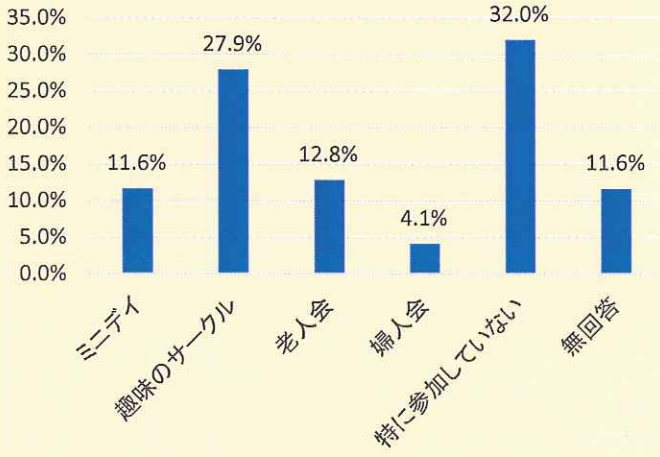
担当地区　幸町　泉町　旭町　南町　温水の一部　厚木の一部
船子（小田急ひばり団地）　岡田（岡田団地）

私たちは、厚木市の委託を受けた総合相談窓口です。
ご自身はもちろん、家族の方からも様々な相談をお受けしております。

外出自粛や集いの場に参加できなかったことによる具体的な生活の変化(複数回答)



これまでどのような集まりに参加していましたか(複数回答)



「地域で生活を続けるためにはどのようなことがあれば安心して生活ができると思いますか？」(意見抜粋)

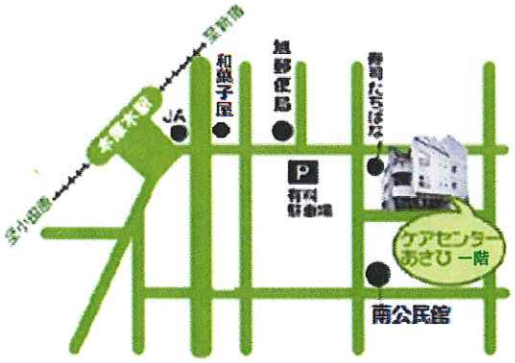
毎日誰かと話す機会があれば、なんとか安心できる気がする

買物サポート

近所の声のかけ合いにより、安否確認ができる

人生終息のときのお助け

回答の中でも多く挙がっていた意見として、「近所との交流」「見守り」「健康」「公的支援以外の生活支援」「万が一のときの連絡体制」などがあり、最も回答が多かったのが「近所との交流」でした。
新型コロナウイルスの影響も受け、近隣との交流が減っていることが予想されます。又、「見守り」や「万が一のときの連絡体制」の充実の希望や、「健康」に関する回答も多いことから、自身の体調への不安があることが多く、安心して生活するための課題となっていると考えられます。一人で行いづらい買い物・掃除といった「生活支援」の希望も挙がっています。

生活上の困りごとは多岐にわたりますが、支え合い・助け合いができる地域にしていくためには、まずご近所さんとのちょっとしたコミュニケーションがポイントになりそうです。
　今回のアンケートで多くの方が参加されていることがわかった「趣味のサークル」も、生き生きとした暮らしへのエッセンスとなっているのかもしれません。

当センターへのご案内